

西高の魅力は？

西高の魅力は何と言っても、自由な校風ゆえの1人1人の豊かな「個性」だと思います。私服ということも相まって、誰もが他の人に染まらず自分の魅力を最大限引き出しています。そしてそれを発揮できる、西高で特徴的な活発な行事やイベント。こんなにも自分の長所や能力に気づかせてくれて成長させてくれる環境は、滅多に無いと思いますし、勉強以外での将来に必要なものを学ばせてくれます。(山口)

西高の魅力といえば、「自分を自由に表現できる」という点だと思います！西高は非常に自由な校風であり、校則に縛られている、と感じたことは僕自身一度もありません。「周りの視線を気にして思うように自分を表現できない…」と思っているそのあなた！私服登校がOKな学校なので、ファッションで自分を表現することもできますし、体育系文化系ともにたくさんの部活があるので、色々な経験ができると思います。自分の挑戦に対して、応援してくれる周りの空気はとても気持ちがいいです！(鈴木)

在校生が語る！ 実際にどうなの？

西高 座談会



やまぐち はる
山口 陽さん
3年3組
(札幌市立平岡中央
中学校出身)
弓道部

むらた ほのか
村田 穂乃花さん 3年3組
(新冠町立新冠
中学校出身)
オーケストラ部

えいなが ゆういち
永長 佑一さん 3年4組
(札幌市立陵北中学校出身)
ハンドボール部

すずき ひろと
鈴木 大翔さん
2年3組
(札幌市立啓明
中学校出身)
現生徒会長

私は札幌から遠い新冠町の出身ですが、どうして私が西高を受けようと思ったかを少し話します。もともと札幌の高校で高いレベルで勉強を頑張っていたと思っていて、自由に学校生活を楽しみながら、たくさんの個性的なおもしろそうな行事のある西高に惹かれました。また、中学校で吹奏楽をやっていた自分にとって、他の高校にはないオーケストラ部がとても魅力的に感じられた部分もあります。西高についての情報を集めるときには、大好き西高の行事のページをよく見ていて、最終的には学力面も考慮した上で、自由な校風の高校に行きたいと強く思い、西高を受けることにしました。実際に西高で過ごす中で、毎回の行事はどれもすごい盛り上がりで、コロナ禍で制限のあった行事も徐々に例年通り行われてきて、ますます本来の西高らしい行事を体験できてとても楽しいです。(村田)

西高の魅力は全て完璧に行うところだと思います。勉強も部活も行事も、誰かが言わなくてもみんな自発的に一生懸命やりぬいています。ただ、ずっと気を張るのではなく、遊ぶところは遊んで、抜くところは抜いています。このメリハリはさすが西高生という感じです。(永長)

高校の勉強は大変？

難易度は格段に上がり、毎週何からのテストもあるので確かに大変だと思います。ですが、西高生は学びの中に楽しさを見つけ出すのが上手です。授業の雰囲気は非常に賑わっていて団結力が高く、一見ただ賑やかなだけに見えて内では学びを深めていっています。そんな西高ですから大変だと思うことはありますが、苦だと思ったことは一度もありません。(山口)



流石は札幌西高校というべきか、気を抜いていると置いていかれてしまいます。一度置いて行かれてしまえば、取り戻すのはとても大変ですよ…！！ですが、諦めることはありません。先生方はいつでも僕達の疑問の解消のために教えてくれます！わからなかったことがわかるようになるあの感覚は何物にも代えがたいものです。放課後には各教室や自習室で多くの生徒が勉強しており、「家で一人勉強をすると集中できない」という君も安心！学校全体が勉強に適した環境だからこそ、生徒のモチベーションが高いまなのだと思います。(鈴木)

私にとってですが、西高での勉強は正直かなり大変です。内容が難しいこともあり、周りのレベルも高いので模試や考査で他の人との成績と比べて悩むことも多々ありますが、わからないことは聞けば友達や先生方が教えてくれますし、やりがいはいとてもあると思います。(下記の部活とも関係がありますが)私は1年生になってすぐは、親元を離れての生活や中学校と比較して難易度の高くなった勉強への不安な気持ちから、部活に入ろうかどうかとても迷っていましたが、部活に入ってもなんとか勉強を続けることはできるし、せっかくの高校生活なので勉強面で不安な人も部活に興味があればぜひ入ることをおすすめします。(村田)

西高の勉強で大変だったことは両立です。部活に入っていると勉強時間がありとれません。なので僕は授業にとても集中して取り組み、家でやることを減らし、土日にまとめて勉強をするというように計画立ててやっていました。生活リズムも中学校と異なり、両立するのは大変ですが、全て疎かにしないのが西高生です。(永長)

部活動は楽しい？

西高生は何かしら部に所属している人が多い印象です。私は弓道部に所属していました。もちろん恵まれた仲間と努力する日々は楽しかったですし、何と言っても最後の大会、高体連で高校弓道最後の一射を締めくくったときの達成感は今でも忘れられません。この感覚を経験するだけでも十分に部活をしていた価値があったと思います。(山口)

西高には体育系文化系ともにたくさんの部活があり、これも西高の魅力の一つと言えますね。僕は生徒会執行部に所属しています。西高の執行部にはなんと百を超える生徒が所属しています！中学校の生徒会をイメージしていた方はびっくりしたのではないのでしょうか？西高にはいくつもの行事があるため、それらの行事を僕達執行部員が主体となって企画運営をしています。一つの

行事を乗り越えたあとの達成感は忘れられません。皆さんに「楽しかったよ」と言ってもらえることが一番の喜びです。(鈴木)

私が所属しているオーケストラ部では、毎年の定期演奏会や高文連の他に年に数回校内のアトリウムで行われるアトリウムパフォーマンス、そして今年はコロナ禍が明け学校祭での演奏もさせていただくことになりました。私がオーケストラ部に入ったのは中学校で吹奏楽部に入っていて、そのまま楽器を続けたかったのと、オーケストラという、西高の伝統的な、他の高校ではなかなか体験できない音楽に触れてみたいと思ったからです。部活と勉強の両立は簡単なことではありませんが、学年を越えての関わりをもつことができたり、自分のやりたいことや好きなことに熱中できる機会をもてたりとたくさんのやりがいがあります。たくさんの部活動があるのは西高の魅力のひとつなので、色々な部活について調べてみるといいかもしれません。(村田)

僕は高校3年間、ハンドボール部に所属していました。この部活は初心者がほとんどで高校生からでも始めやすかったです。また、同期だけでなく先輩後輩問わず仲が良く明るい雰囲気、クラスとは違う交友関係ができます。西高には多くの部活があるので、きっと自分にあった部活動が見つかるはずです。(永長)



西高で待ってます!!

これだけは言えるのは、西高に入って後悔は絶対にありません！勉強面、行事面、生活面、何をとっても西高は素晴らしいです。私もそうでしたが、中学3年生のこの時期は非常に辛いです。ですが、それを乗り越え西高に入ることができて本当に良かったと思うと同時に、これと今同じ境遇であろう皆さんに、少しでもこの様な形で私の気持ちが伝わっていれば嬉しいです。一緒に頑張りましょう！(山口)

西高ほど、良い意味で高校らしくない学校はきっと少ないと思います。勉強だけではなく、自分のやりたいことを見つけられる素晴らしい学校です！「勉強が辛い」と思ってしまうときは西高生になった自分を想像してみてください。この学校でしか経験できないことがたくさんあります。僕はまだ二年生なので、「大好き！西高」を読んでいるみなさんが来年入学してくることを楽しみに待っていますね！(鈴木)

もちろん大変なこともあります。それ以上の楽しく充実した学校生活が西高で送れるはずです。行事、校舎、校則と“西高ならではの”たくさんある素敵な高校です。ぜひこの学校で素敵な高校生活を送ってください！(村田)

今、志望校を目指して勉強を頑張っていることが、高校に入ってから自信になります。壁にぶつかっても、あの時頑張れたから大丈夫と思えるからです。そして西高には色々な人がいて、色々なイベントがあります。あなたが思っているよりも楽しいですよ！西高で素敵な思い出をたくさん作りましょう！応援しています！(永長)